

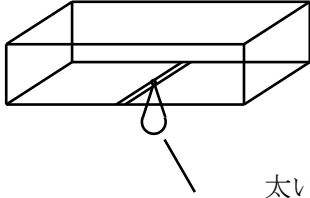
JSCA 新潟主催「構造模型」コンテストの報告

I. 開催要項

1. 日 時 平成 23 年 9 月 17 日 (土) 午前 8 : 30 ~ 午後 16 : 30
2. 会 場 新潟大学 工学部 107 講義室 (西門よりアクセス)
3. 内 容
制限時間内に決められた材料で決められたスパン間を渡す「構造模型」(形は自由)を製作してもらい、载荷実験を行う中で「力強さ」と「美しさ」を競い合います。
4. タイムテーブル
 - (1) 受 付 ----- 8 : 30 ~ 9 : 00
 - (2) 開会式 ----- 9 : 00 ~ 9 : 30
 - (3) 製作作業 ----- 9 : 30 ~ 12 : 30
 - (4) 昼食休憩 ----- 12 : 30 ~ 13 : 30
 - (5) プレゼンテーション --- 13 : 30 ~ 16 : 00
 载荷試験
 - (6) 表彰、閉会式 ----- 16 : 00 ~ 16 : 30
5. 参加予定チーム
社会人、新潟職業能力開発短期大学校、新潟大学、長岡造形大学、新潟工科大学
(1 チーム 2 ~ 4 人程度とします)
6. 製作、発表について
当日は構造物の製作作業のみを行い、製作時間内 (3 時間) に構造物を完成させて下さい。1 チーム 2 個まで製作可とします。(载荷も 2 個まで可)
プレゼンテーションはコンセプト、予想破壊荷重、想定破壊箇所の報告を 1 チーム 5 分以内で行っていただきます。
7. 使用材料 (支給)
 - ・ 断面 3mm × 3mm、長さ 900mm のヒノキ材・・・6 本
 - ・ タコ糸(6 号 : 太さ 1mm 程度)・・・550m のロール 1 本
8. 製作条件
 - ・ ヒノキ材、タコ糸を使用し、40 ~ 70 cm のスパンに架かる構造物とする。(正式な実施スパンは大会当日に発表します)
 - ・ 構造物の形、材料の使用方法についての制限は無く、部材の接合はタコ糸で縛るこ

とで行う。(ただしヒノキ材を束ねることは不可とします。又ボンド等の接着剤の使用は禁止します。)

- ・ 載荷試験はスパン中央からフックで重りを吊るすことで行うので、フックが掛けられる輪をタコ糸で構造物下部中央に1箇所設ける。(重りはこちらで用意します)



太いタコ糸(支給)で載荷用の輪を作ってください。

- ・ 載荷の際の最低荷重は **2kgf** とする。
- ・ 「力自慢」か「想定ピタリ自慢」かのいずれかの部門にエントリー。

参加チーム (10チーム12作品)

力自慢部門

新潟工科大学 ベた

新潟職業能力開発短期大学 あ隊

新潟大学 土井研究室チーム(1)

長岡造形大学 NID-C

新潟職業能力開発短期大学 シュワッチュ

新潟職業能力開発短期大学 11 隊

新潟大学 加藤研究室チーム(1)

新潟職業能力開発短期大学 キュアとつきつき

想定ピタリ部門

新潟大学 土井研究室チーム(2)

長岡造形大学 NID-B

新潟大学 加藤研究室チーム(2)

長岡造形大学 NID-A

参加者 44 名? (暫定値)

内訳 学生 約 27 名?

J S C A 約 17 名?

II. 開会式



受付



メイン会場 (107 講義室)



JSCA 新潟長橋代表の開会挨拶



飯田実行委員長のルール説明



司会 堀氏

III. 製作風景



製作会場 1 (105 講義室)



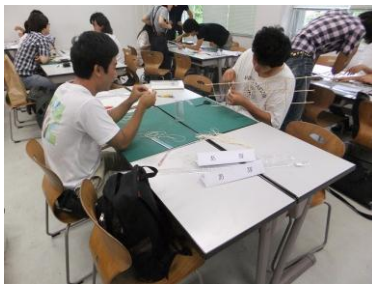
新潟工科大学 ベタ



新潟大学 土井研究室チーム (2体)



新潟大学 加藤研究室チーム (2体)



新潟職業能力開発短期大学 あ隊



新潟職業能力開発短期大学 シュワッチュ



新潟職業能力開発短期大学 11 隊



新潟職業能力開発短期大学 キュアとつきっ



長岡造形大学 NID-A



長岡造形大学 NID-B



長岡造形大学 NID-C

IV. 作品完成



新潟工科大学 べた
(1073g、6位)



新潟職業能力開発短期大学 あ隊(5068g、2位)



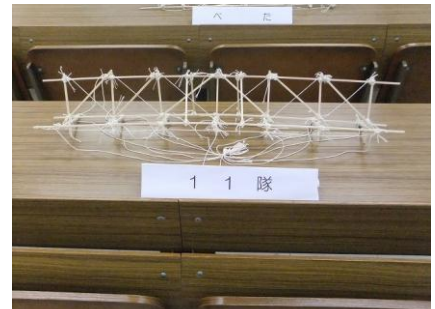
新潟大学 土井研究室チーム(1)(2007g、5位)



長岡造形大学
NID-C(7490g、1位)



新潟職業能力開発短期大学
シュワッチュ(1025g、7位)



新潟職業能力開発短期大学
11 隊(2399g、4位)



新潟大学 加藤研究室チーム
(1) (2943g, 3位)



新潟職業能力開発短期大
学 キュアとっきっき
(1025g, 7位)



新潟大学 土井研究室チーム
(2) (1846g, -1154g, 4位)



長岡造形大学 NID-B (2672g、
+472g, 3位)



新潟大学 加藤研究室チーム
(2) (2213g、-287g, 2位)



長岡造形大学 NID-A
(4453g,+253g,1位)

V. 載荷風景



加力前のプレゼンテーシ
ョン



観客



加力 (これを2体並列での
加力)

VI. 表彰式



力自慢の部 1位
長岡造形大学 NID-C



1位の挨拶



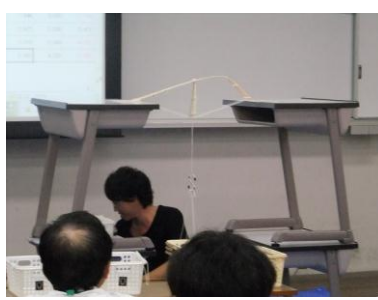
力自慢の部 2位
新潟職業能力開発短期
大学 キュアとっきっ



力自慢の部 3位
新潟大学 加藤研究室チ
ーム (1)



想定ピタリの部 1位
長岡造形大学 NID-A



美鑑賞
長岡造形大学 NID-A



JSCA 新潟賞
新潟大学 土井研究室チ
ーム (2)



長橋 JSCA 新潟代表の講評